

# 新入荷商品のご紹介



本場琉球絣 夏着尺  
夏涼やかな着姿は見るものにひと時の涼を呼びます。  
本場の琉球絣で本物志向のあなたの夏のコーディネート  
を涼やかに演出します。  
216000円



工芸キモノ野口 夏名古屋帯  
白地の絹の夏生地、涼しげな夏のモチーフを配した工  
芸キモノ野口の夏の名古屋帯です。  
194400円



和想庵 畳表5枚 草履  
本物志向のあなたに本畳表の草履です。夏の鼻緒と組み  
合わせて足元も涼やかに。  
58280円



漢方敷 2枚入り  
1250円  
防虫、除湿、脱臭、抗  
菌、防虫の効果があり、  
半永久的に使用するこ  
とができる、最高級和  
紙のタンス敷紙です。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

# きもの新聞 2019年5月号

ごあいさつ

令和元年

令和の時代がはじまりました。皆さんは新しい時代にどんなことを期待しますか。昭和、平成と過ごしてきた中、どんどん生活は便利になっていきますが、もう一度足を止めて古き良き日本の魅力を再確認できる「令和」を河内屋は発信していけたらと思っています。

6月の連休

6月4日(火) 5日(水)

## 特集 琉球絣の魅力

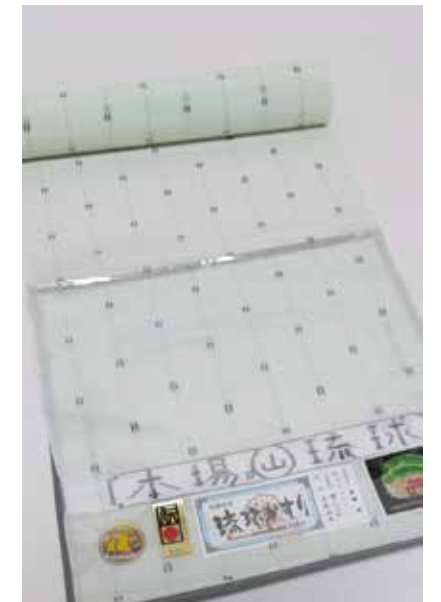


遠くインドに源を発し、東南アジア各地に広がった絣が、琉球王府の大交易時代の波に乗って、沖縄に入ったのが14～15世紀ごろ。それ以後、中国・日本や東南アジアの影響を受けながらも、琉球の気候・風土にマッチした独自の絣が沖縄各地でつくられ、その絣が、海を越え、薩摩絣、久留米絣、米沢琉球絣、伊予絣など日本の絣のルーツとなりました。

琉球かすりの大きな特徴は、およそ600種という多彩な図柄。これら爽やかな涼感をさそう幾何学模様の図柄は、琉球王府時代から伝わる「御絵図帳」をもとに、職人たちが現代の感覚を取り入れて、オリジナルを作り上げます。

この図柄をもとに、糸を染め上げる時、少しずつ束ねた糸を計算された間隔で、模様部分を1カ所ずつ手括りで締め上げていくという大変手間のかかる方法で、独特の絣模様をつくります。

織は、緯糸を経糸の間に投げ込んでおいていく昔ながらの技法で、1日せいぜい1～2メートルぐらいずつ丹念に織り上げていきます。



twitter、facebook、  
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや  
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！  
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>  
日々、ブログを更新しています。  
着物のこと、日常のこと、音楽の  
ことなどつづっています。  
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521  
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62  
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>  
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp  
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539